



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング 上場取引所 東
 コード番号 3965 URL <https://www2.cap-net.co.jp/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 雅一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理部 部長 (氏名) 青木 浩一 (TEL) 06-4796-5666
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 2021年6月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,417	△3.4	125	131.5	127	115.4	78	204.3
2020年9月期第2四半期	3,539	△1.3	54	△85.2	59	△84.4	25	△89.4

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 66百万円(—%) 2020年9月期第2四半期 △76百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	13.68	—
2020年9月期第2四半期	4.50	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	5,868	3,217	53.5
2020年9月期	5,679	3,208	55.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 3,140百万円 2020年9月期 3,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年9月期	—	6.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	5.00	11.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2020年9月期第2四半期の配当額には、創立30周年記念配当1円が含まれております。

3. 2021年9月期第2四半期の配当額には、東証一部市場変更記念配当1円が含まれております。

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	1.7	340	100.9	330	93.3	214	139.7	37.50

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	5,708,496株	2020年9月期	5,708,496株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	1,550株	2020年9月期	1,550株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	5,706,946株	2020年9月期2Q	5,706,946株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大が続き、2021年1月及び4月には緊急事態宣言が再度発出されるなど、終息時期の明確な見通しが立たない状況が継続しております。企業の情報システム投資は、非接触化等の新型コロナウイルス対応等の需要はあるものの延期や抑制が懸念されています。また、金融業界においては銀行や証券会社より、対面販売のウエイトが大きい生命保険業界において最も深刻な影響を与えたと考えられます。

このような環境のなか、当社グループにおいては、生命保険会社向けの①ライフプランニングシステム、②生保設計書・申込書作成システム、③生保販売引受業務の全プロセスを、ペーパーレス化、省力化し、さらに今後のニューノーマルとなり、生保各社のニーズが旺盛な非対面による遠隔コンサルティングシステムの開発提供を継続しました。そして、④米国で急速に浸透しつつある複数の投資目標の達成確率を予想するゴールベースプランニングプラットフォーム、⑤団塊の世代の経営者を主たる対象とした統合資産管理システム、事業承継・財産承継システムの構築・販売及び使用料課金、さらに、⑥当システムを活用した資産管理コンサルティング業務の獲得に努力いたしました。

また、金融庁の「高齢社会における資産形成・管理」等の提言に端を発し、家計収支の見える化、資産枯渇年齢の見える化を実現し、退職年齢の延長、公的年金の繰下げ支給、ポートフォリオの変更がもたらす影響を見える化するスマホアプリも提供いたしました。これは、従来のバンキングアプリケーション、アカウントアグリゲーション及びライフプランニングの各機能を統合した資産形成アドバイスを、スマホ等で提供出来ることを意味します。さらに、今後の我国における人生100年時代、大相続時代の到来を背景としたゴールベースプランニングシステム、統合資産管理システム、相続・財産承継システムの大型開発案件を大手金融グループより受託するとともに、地域金融機関、金融商品仲介業者、FP、会計事務所向けに統合資産管理システムの使用料課金の拡大に努めました。

当社グループの主たる事業である受託開発事業は、金融機関のIT投資予算の制約や、生命保険会社の新商品販売時期の10月頃集中により、売上高、営業利益、経常利益とも、1月から3月（第2四半期）、7月から9月（第4四半期）に偏重する傾向があるため、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,417,868千円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益は125,789千円（前年同四半期比131.5%増）、経常利益は127,492千円（前年同四半期比115.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は78,070千円（前年同四半期比204.3%増）となりました。

なお、当社グループはシステム開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(売上高)

生命保険会社向けの①ライフプランニングシステム、②生保設計書・申込書作成システム、③生保販売引受業務のペーパーレス化、省力化、効率化、自動化、非対面化を実現するフロントエンドシステム、④銀行及び会計事務所ネットワーク向け相続事業承継・財産承継システム及びAI-OCRシステム等の開発販売の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,417,868千円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

(営業利益)

今後の対面金融商品販売のニューノーマルとなる非対面遠隔コンサルティングシステム等の積極的な営業活動を行う一方で、受託ビジネスについては回復が進み、営業利益は125,789千円（前年同四半期比131.5%増）となりました。

(経常利益)

営業外収益として、受取利息及び配当金を6,621千円計上しました。また、営業外費用として、支払利息を9,292千円計上しました。この結果、経常利益は127,492千円（前年同四半期比115.4%増）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

法人税等合計を50,820千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は78,070千円（前年同四半期比204.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

<資産>

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて189,456千円増加し、5,868,971千円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて34,440千円増加し、3,815,138千円となりました。これは主として現金及び預金が579,827千円増加した一方で、売掛金が388,580千円、仕掛品が114,261千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて155,015千円増加し、2,053,832千円となりました。これは主としてその他に含まれるソフトウェアが216,872千円増加したこと等によるものであります。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて179,813千円増加し、2,651,127千円となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて104,122千円増加し、1,811,705千円となりました。これは主としてその他に含まれる未払消費税等が106,197千円計上したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて75,690千円増加し、839,422千円となりました。これは主として長期借入金が75,044千円増加したこと等によるものであります。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて9,643千円増加し、3,217,843千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を78,070千円、剰余金の配当を57,069千円計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて579,826千円増加し、1,973,556千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、874,783千円の収入（前年同四半期は400,332千円の支出）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益128,891千円、減価償却費99,565千円、売上債権の減少388,580千円、たな卸資産の減少114,261千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、292,985千円の支出（前年同四半期は139,436千円の支出）となりました。これは主として無形固定資産の取得による支出269,782千円、有形固定資産の取得による支出13,505千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,972千円の支出（前年同四半期は40,216千円の支出）となりました。これは主として長期借入れによる収入400,000千円を計上した一方で、長期借入金の返済による支出344,452千円、配当金の支払額56,988千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があり、引き続き注視してまいります。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,073	1,994,901
売掛金	1,989,885	1,601,304
仕掛品	261,343	147,081
その他	114,971	72,310
貸倒引当金	△576	△459
流動資産合計	3,780,697	3,815,138
固定資産		
有形固定資産	372,885	351,757
無形固定資産		
のれん	73,575	62,256
その他	590,640	793,798
無形固定資産合計	664,216	856,055
投資その他の資産	861,715	846,019
固定資産合計	1,898,817	2,053,832
資産合計	5,679,515	5,868,971
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,646	316,785
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	516,801	497,305
未払法人税等	69,343	67,955
品質保証引当金	—	7,440
受注損失引当金	31,083	485
賞与引当金	15,378	13,798
資産除去債務	—	3,067
その他	178,330	304,868
流動負債合計	1,707,582	1,811,705
固定負債		
長期借入金	438,993	514,037
役員退職慰労引当金	59,166	66,166
資産除去債務	154,448	151,995
その他	111,123	107,223
固定負債合計	763,732	839,422
負債合計	2,471,314	2,651,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	935,245	935,245
資本剰余金	816,311	816,311
利益剰余金	1,348,563	1,369,564
自己株式	△691	△691
株主資本合計	3,099,429	3,120,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,110	19,784
その他の包括利益累計額合計	31,110	19,784
新株予約権	77,660	77,628
純資産合計	3,208,200	3,217,843
負債純資産合計	5,679,515	5,868,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	3,539,948	3,417,868
売上原価	2,857,994	2,709,226
売上総利益	681,953	708,641
販売費及び一般管理費	627,613	582,852
営業利益	54,339	125,789
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,632	6,621
助成金収入	4,482	2,607
その他	2,137	1,767
営業外収益合計	13,252	10,995
営業外費用		
支払利息	8,389	9,292
その他	0	0
営業外費用合計	8,389	9,292
経常利益	59,202	127,492
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,398
特別利益合計	—	1,398
税金等調整前四半期純利益	59,202	128,891
法人税、住民税及び事業税	18,484	50,747
法人税等調整額	15,058	72
法人税等合計	33,542	50,820
四半期純利益	25,659	78,070
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,659	78,070

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	25,659	78,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101,754	△11,325
その他の包括利益合計	△101,754	△11,325
四半期包括利益	△76,095	66,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,095	66,745
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	59,202	128,891
減価償却費	66,613	99,565
のれん償却額	11,319	11,319
株式報酬費用	19,400	1,365
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,000	7,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	116	△117
品質保証引当金の増減額(△は減少)	△2,880	7,440
受注損失引当金の増減額(△は減少)	662	△30,597
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,487	△1,580
受取利息及び受取配当金	△6,632	△6,621
新株予約権戻入益	—	△1,398
支払利息	8,389	9,292
売上債権の増減額(△は増加)	△388,735	388,580
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,872	114,261
仕入債務の増減額(△は減少)	10,662	20,138
その他	△1,482	181,741
小計	△260,749	929,280
利息及び配当金の受取額	6,632	6,621
利息の支払額	△8,426	△9,267
法人税等の支払額	△137,789	△51,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	△400,332	874,783
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,363	△13,505
無形固定資産の取得による支出	△101,417	△269,782
差入保証金の差入による支出	△17,092	—
保険積立金の積立による支出	△10,048	△10,048
その他	486	351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,436	△292,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	350,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△325,002	△344,452
配当金の支払額	△62,617	△56,988
その他	△2,597	△531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,216	△1,972
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△579,985	579,826
現金及び現金同等物の期首残高	2,235,921	1,393,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,655,936	1,973,556

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。